

auto fashion import

失敗しない輸入車カスタマイズの楽しみ方

af imp.

ますますヒートアップ
北米カスタムシー

SEMA SHOW 20

クラシカルに
水冷ポル

JT MODE Porsche 9

注目ホイール速攻履きこなし

ISPIRI/O-Z/ENERGY MOTORSPORT/Alpil/Prodrive/BBS

スタイルアップの方程式

足し算引き算のバランスで変わる格好いいクルマの作り方

GERMAN TUNER REPORT

SPEED BUSTER

限りないチップチューンの
可能性を求めて

Special I

LA&ラスベガスを楽しみ
王道から裏技
Local Touring G



ENERGY×BBS
FORGED
CONCAVE 21



融合する、ふたつの魂。

ENERGY × BBS

1+2ピース・リムオーバーツインスポーク。
のサイズごとに深度の異なるコンケーブフェイス。
界最高のホイールをつくる」というBBSの信念と、唯一無二のデザイン性を追及する
ジューモータースポーツの理念が融合し、BBSジャパンとしては国内初となる
「S」という孤高の紋章を刻印することを許されたコラボモデル。
ENERGY×BBS FORGED CONCAVE 21

ENERGY MOTOR SPORT Complete car [EVO 64.1]



WWW.
everyn.com

ENERGY × BBS FORGED CONCAVE 21

サイズ	インセット	ホール	P.C.D	ハブ径	価格
21×9J	23	5	120	72.5	¥240,000(税別)
	35	5	120	72.5	¥240,000(税別)
21×10J	20	5	120	72.5	¥250,000(税別)
	43	5	120	72.5	¥250,000(税別)

Garage EVE.RYN

SETAGAYA SHOWROOM

〒158-0096 東京都世田谷区玉川台2-11-4 TEL:03-3707-3800

OSAKA SHOWROOM

〒580-0012 大阪府松原市立部2-291-1 TEL:0723-39-1760



↓深く落とし込まれたセンターパッケージ。ボルトホールをもデザインに取り込んでスポークが広がる複雑さが同ブランドらしい造形だ

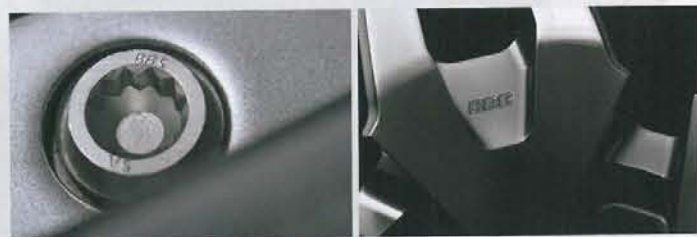


↑リムを乗り越えるようにデザインされたツインスポークの端は、リムから1mmのクリアランスで浮いている。精度の高さが伺える仕様

ENERGY MOTORSPORT

問●ガレージエブリン TEL.0723-39-1760(大阪)/TEL.03-3707-3800(東京)
www.energy-ms.jp

ENERGY × BBS FORGED CONCAVE 21



刺激的なコンプリートに絶妙なマッチング



随所に施された誇らしげな刻印

↑普段OEMでは目にする事のないBBSの刻印が、スポーク間やバルブキャップ、ピアスポルトなど各部に潜むというダブルネームならではの仕立て。他にはないものを作るというエナジーモータースポーツとBBSという同じ理念を抱えたブランド同士が出会うことで生まれたこのホイール。BBSジャパンとしては国内初となる市販のコラボレーションモデルなのだ

SIZE	価格
9J×21+23	¥240,000+税
9J×21+35	¥240,000+税
10J×21+20	¥250,000+税
10J×21+43	¥250,000+税

されている。マルチピースの精度の高さを強く印象づけるオリジナルティ溢れる造形だ。

そのデザインも然ることながら、ツインスポークの間や天面、さらにピアスポルトなど、各所に施されたBBSの刻印を探すのも楽しみのひとつだろう。OEM供給の場合、その存在は基本的には裏に隠れ、見ることができないのだから。

その名が表すとおり、サイズは21インチのみ。ミドルクラス以上をターゲットにした設定は、そのデザインを最大限に活かすためのもの。エナジーのもつ、唯一無二のデザイン性を、最高の鍛造技術でカタチにする。そんな夢のようなコラボレーションがここに実現したのだ。



至宝の鍛造ブランドとの 劇的コラボレーション

BMWをベースに大胆なコンプリートカーを発表し続けているエナジーモータースポーツと、日本が誇る鍛造ホイールブランドBBSのダブルネームによるコラボレーションホイールが登場! 刺激的で高性能な足もとを創り上げる意欲的な1本だ。

写真●伊富道男 文●鮎崎主輔(at imp)

デザインと製法のダブルネームに価値あり

独自のホディワークを施したコンプリートカーで、他にはない世界観のBMWを創り上げるエナジーモータースポーツ。そして鍛造ホイールブランドとして絶対的な地位を確立しているBBS。その両者がタッグを組んで生み出したのが、このホイール、コンケーブ21だ。

BBSといえば、応力分散と高剛性に優れたクロスポークデザインを基本とするが、このモデルではまったく異なるアプローチを見せた。5×2スポークというレイアウトは、ある意味でBBSらしからぬスタイル。もちろん彼らは多くの純正ホイールをOEM供給している実績があるから、多種多様なデザインを製作する能力がある。その一方でBBSの名を冠したモデルには、クロスポークを常に採用してきた。そのことはBBS II クロスポークというアイデンティティを確立するうえで非常に有効であった。しかしこのモデルは、そんな自らに課した制約を打ち破るかの如く、自由に、そして大胆に造形されている。

シャープなエッジをもつスポークは、深くセンターに向かって落とし込まれたコンケーブライン。途中でテーパーを付けた鋭角に切り返しを入れるなど、非常に表情豊か。さらにそのスポークは均一なクリアランスでリムから浮くようにデザイン

COMPLETE SHOCK!!



ENERGY MOTOR SPORT

掟破りのアプローチ その存在、別次元!!

異形なる姿で現れたエナジーのワンオフコンプリートモデル、EVO i3。その大胆すぎるボディワークは、見るものを強く、確実に惹きつけ、脳裏に鮮烈な印象を焼き付ける。絶対的な存在感を携えた姿。絶大なインパクトを放つボディワークに、迫る

写真●柳田由人 文●熊崎主輔 Kelsuke KUMASAKI (af imp.)
問●ガレージエブリン TEL.0723-39-1760 (大阪) / TEL.03-3707-3800 (東京) www.energy-ms.jp

EVO i3

SPEC
フロントバンパー・スポイラー
フロントオーバーフェンダー
リアオーバーフェンダー
リアリップスポイラー・カーボン
エナジー・インディビジュアル・タイプ3 for EVO i3 20インチ
(*コンプリートカーのためパーツの価格設定なし)



↑オーバーフェンダーの厚みは、給油口の切り欠きでわかるだろう。20インチというサイズ以外は公表されていないが、明らかに純正からはワイドなタイヤ&ホイールを飲み込んでいる



↑リアリップスポイラーはすぐにでも商品化できそうな造形。中央部分にはエンブレムとシリアルが装着される



↑幾重にも重なるようにして広がっていくフェイス。複雑な構成される表情はまさにエナ



驚異的な造形で圧倒する
ブランドコンセプトモデル

発表されると同時に、BMW関係のブログを皮切りに多くの自動車関連サイトが発信をして、瞬く間にその衝撃的な姿が全世界を駆け巡った。エナジーモータースポーツの挑戦的なコンプリートモデルEVO i3は、大いなる賛否の議論を巻き起こした。同ブランドは確かにこれまでにもインパクトのあるコンプリートカーを発表してきた。独創的なフルバンパーによるボディメイクは、多くのチューナーがコンサバティブな方向にシフトしてきている現在のBMWシーンにおいて、独特のポジションを獲得している。そこに新たなブランドの象徴としてこのワンオフモデルは生み出されたのだ。

フェイスは、構造上取り外すことのできないウインカー部分を幾重にも抱き込むようにラインを走らせ、超ワイドに広がった。純正のボディにも多く使われているカーボンは、波打つようにエッジを立ててワイドなフェンダーへとつながっていく。

i3といえは、超ナローでハイインチなタイヤ&ホイールを備えているのもトピックのひとつ。我々スタイルアップ好きとしては、この専用タイヤの足もとが悩みどころだった。しかしEVO i3では、そんな悩みをあざ笑つかのように、ワイドフェンダーにあわせて、超扁平タイヤとハイインチホイールをあわせたのだ。制約に囚われることなく、自由に、思いつくアイデアをフルに発揮したEVO i3。堂々の完成だ。